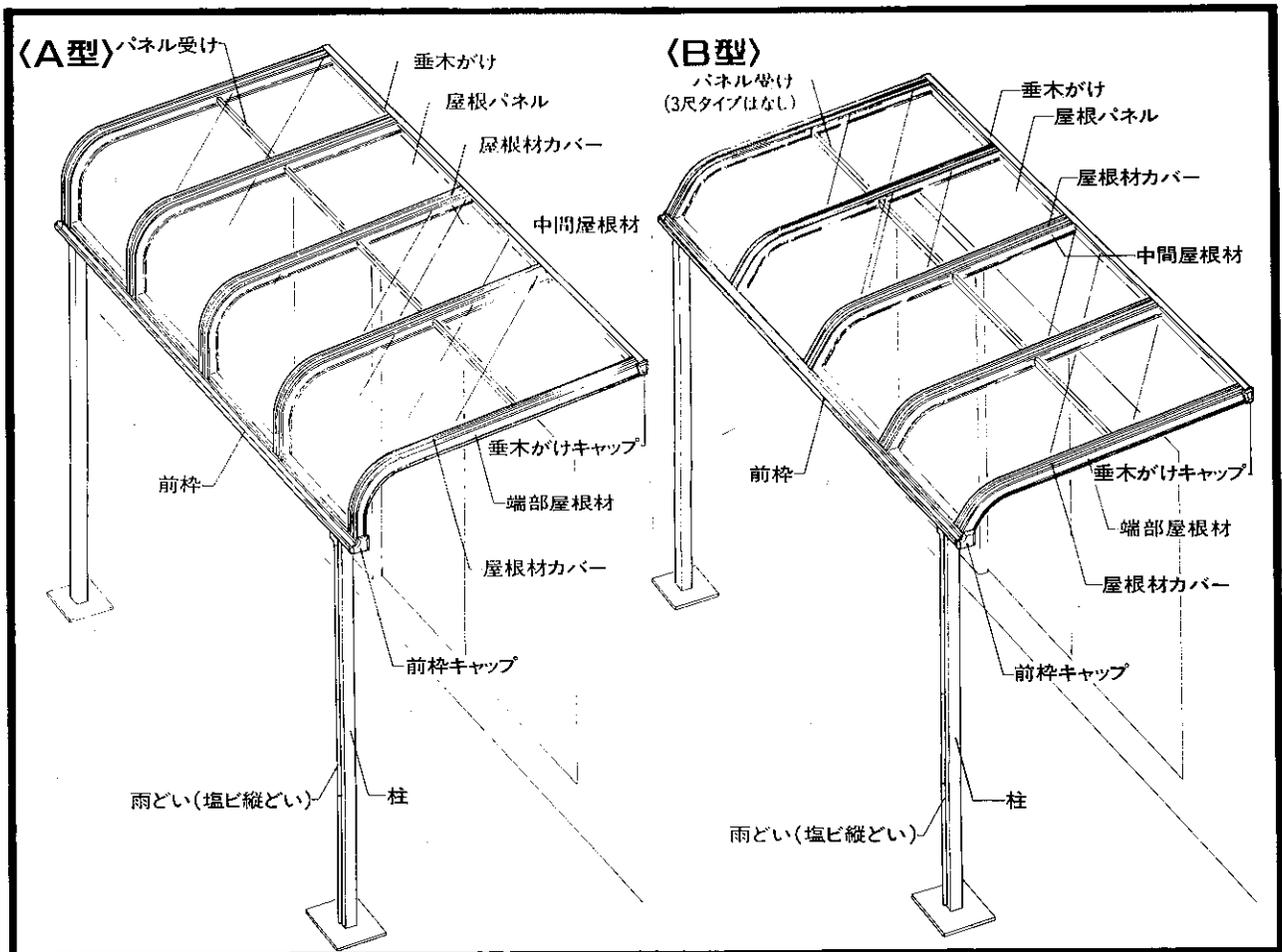


カーブテラスA型・B型

取付け説明書



お願い

- 組立てネジ・ボルトは、締め忘れぬよう、また使用中緩まぬよう、確実に締め付けてください。
- タッピンネジの下穴は、太いドリルを使用するとネジの保持力が下がりますのでご注意ください。
- アルミ形材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。
- 取付け時は、パネル受けと屋根材以外のところには乗らないでください。
- アクリルパネル(屋根)を切り詰めの場合は、アクリルカッターをご使用ください。
- アクリル板用シール材は、当社指定のものをお使いください。詳細は、本文の記事をご覧ください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。

この説明書は、施工完了後施主様に、お渡し願います。

取付け手順 (標準タイプの場合)

1. 柱基礎

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
- ※ 地下埋設物(給排水管など)に影響を及ぼさないようご注意ください。
- ※ コンクリート(またはモルタル)には急結剤は絶対に使用しないでください。使用しますとアルミが腐食するおそれがあります。
- ※ 海砂はアルミが腐食するおそれがありますので、十分水洗いしたものをご使用ください。

2. 垂木がけの取付け

- 垂木がけを躯体に取り付ける際、必ず水準器で水平を出してください。
- 垂木がけは、必ず躯体の柱、間柱など、構造材に取り付けてください。

3. 前枠・屋根材・パネル受けの取付け

■ 取付け金物の取付け

- A図のように、前枠の上・下部の溝に金物取付けボルトを差し込み、上部には屋根材・前枠固定金物を、下部には柱取付け金物を取り付けます。

■ 柱の取付け

- 前枠に取り付けた、柱取付け金物に取り付けます。

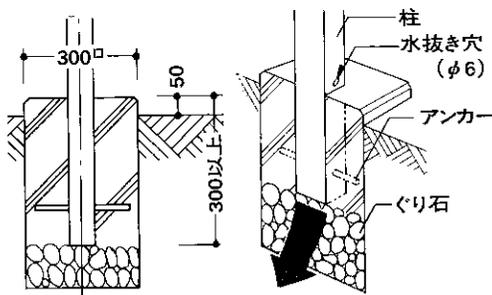
■ 屋根材の取付け

- 前枠に取り付けた固定金物と垂木がけに取り付けます。

■ パネル受けの取付け

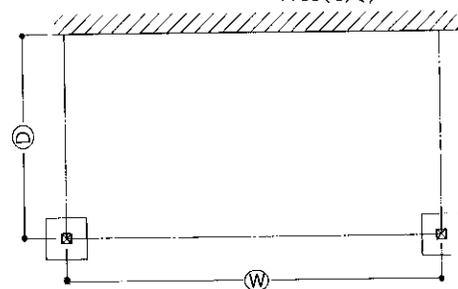
- 屋根材の間にパネル受けを取り付けます。
- ※ 部材組立ての際、正確に対角を出してください。

■ 柱用基礎

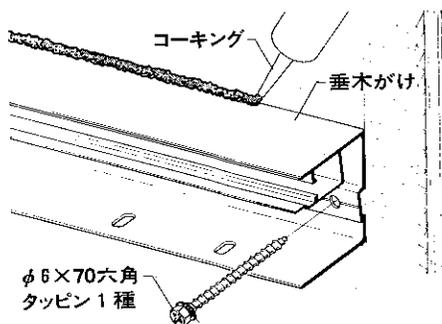


■ 墨出し位置

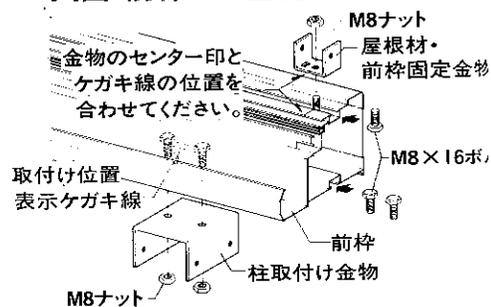
- ⊙ = 2755(1.5間)
- 3650(2.0間)
- 3650(2.5間)
- ⊘ = 885(3尺)
- 1185(4尺)
- 1485(5尺)
- 1785(6尺)



■ 垂木がけの取付け



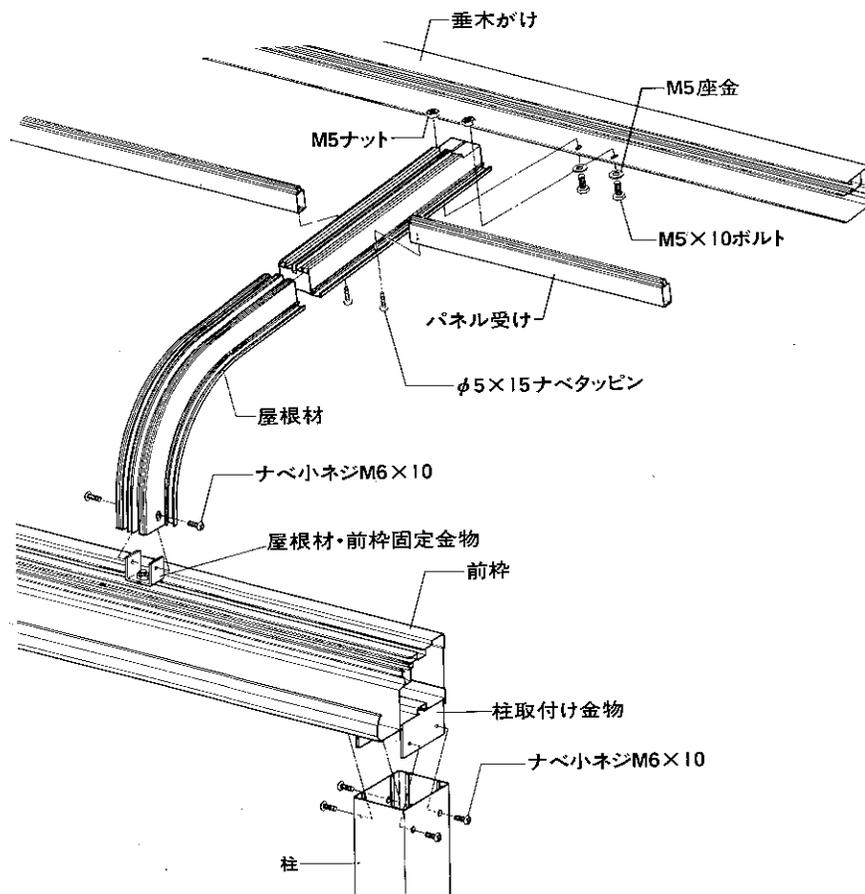
A図・前枠への金物の取付け



■ ボルト本数(M8×16ボルト)

	1.5間	2.0間	2.5間
上部溝	5	6	7
下部溝	4	4	4

■ 前枠・屋根材・パネル受けの取付け

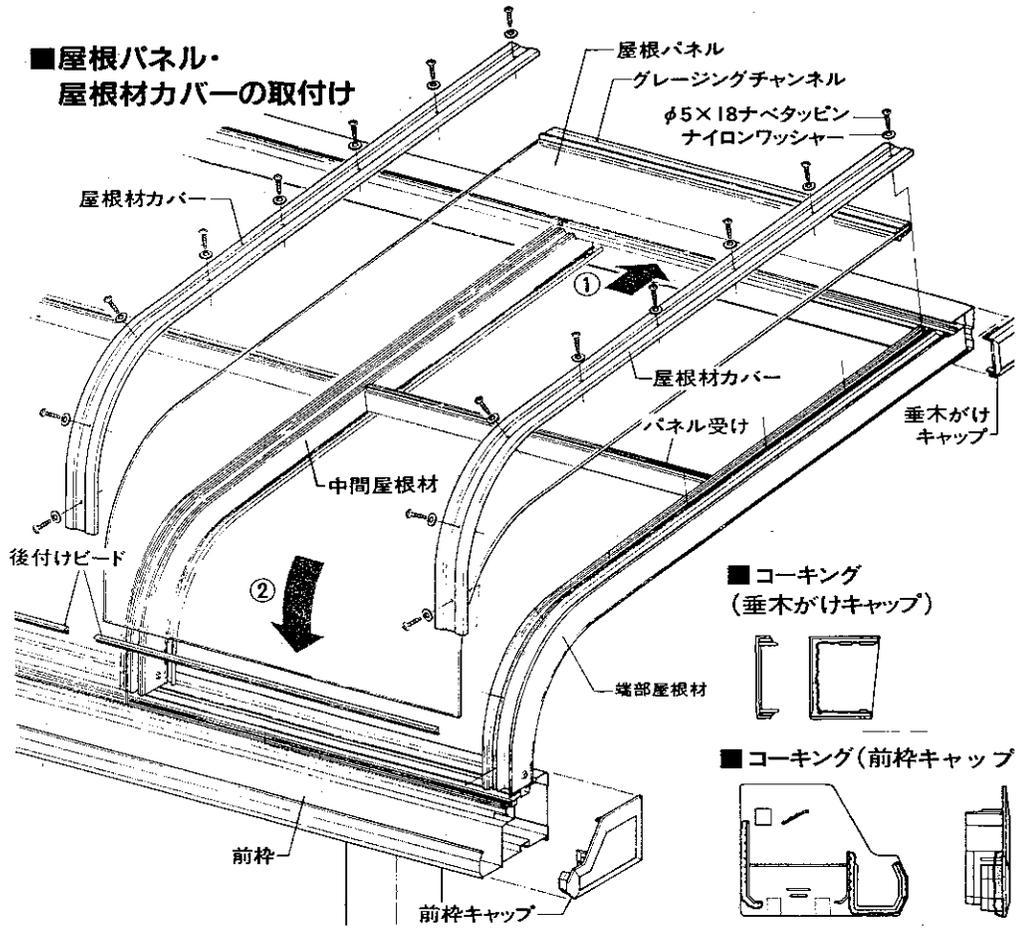


4. 屋根パネル、屋根材カバーの取付け

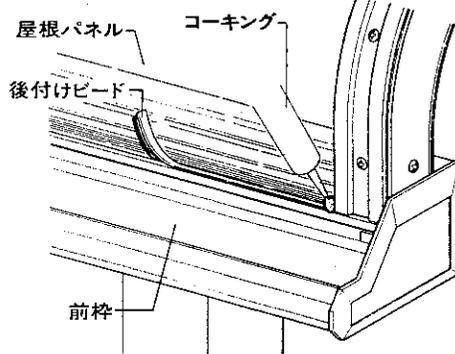
■屋根パネルの取付け

- 屋根パネルの上端に、グレージングチャンネルを取り付け、垂木がけに差し込みます。
 - 屋根材カバーで、屋根パネルを固定します。その際ねじ止めは下部より行ってください。
 - 屋根パネルの下部は、前枠に後付けビードを取り付けて固定します。
 - 垂木がけ及び前枠の両端部にキャップを取り付けます。この時、必ずコーキング材を充てんしてください。
- ※ アクリル公差などの関係で、屋根パネルが大きい場合はカットしてください。
- ※ 屋根パネルは、左右のみ込み代が等しくなるようにセットしてください。

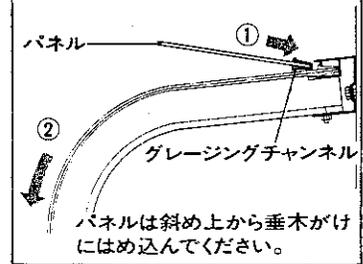
■屋根パネル・屋根材カバーの取付け



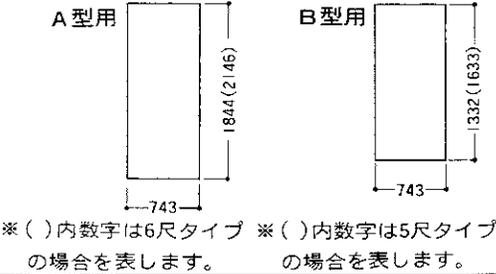
■後付けビードの取付け



■屋根パネルの取付け

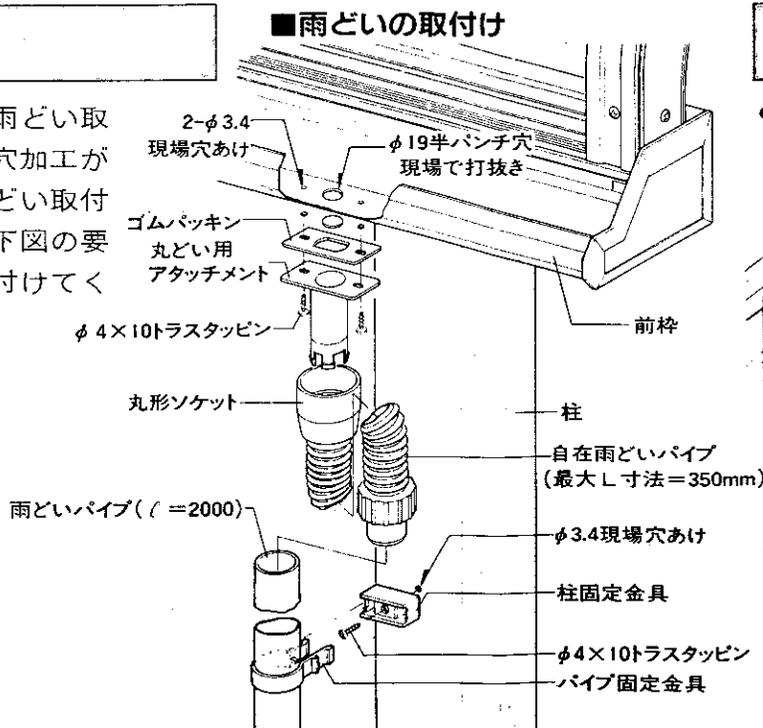


■屋根パネル寸法



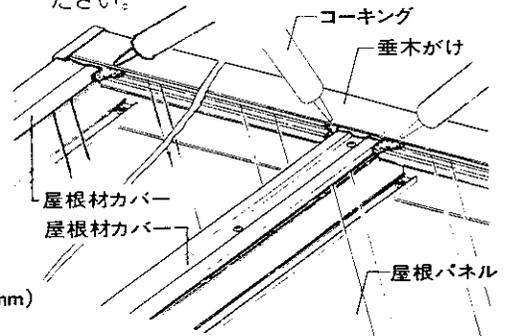
5. 雨どいの取付け

- 前枠の左右には、雨どい取付け用の半パンチ穴加工がしてあります。雨どい取付け側を打ち抜いて下図の要領で雨どいを取り付けてください。



6. コーキング

- 屋根パネル及び屋根材カバー取り付け後下図の箇所をもれなくコーキングしてください。



- シリコンシールを行う場合、アクリル板のヒビ割れなどが考えられますので、当社指定のシリコン材またはプライマーを使用してください。[東芝#380・#381・東レSE555]など。なお、東芝#381、東レSE555はプライマー不要。

連結タイプの場合

連結部以外の取付けについては、標準タイプと同じです。

連結タイプの取付け

■前枠・垂木がけの切詰め

- 前枠及び垂木がけの連結側を、右図要領で切詰め加工をしてください。

■垂木がけの取付け

- 垂木がけの躯体取付け穴(φ7)を、柱、間柱など、躯体の構造体位置に合わせてあけ直してから取り付けてください。

■連結部中間屋根材及び柱の取付け

- 連結部には、中間屋根材及び柱がつかます。それぞれの取付け金具を取り付けてから、中間屋根材や柱を取り付けます。

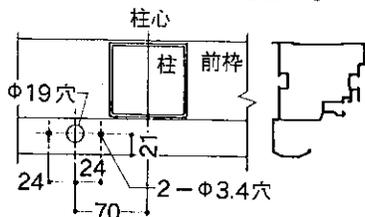
■連結部のコーキング

- 連結部(前枠、垂木がけ)には必ずコーキング材を充てんしてください。

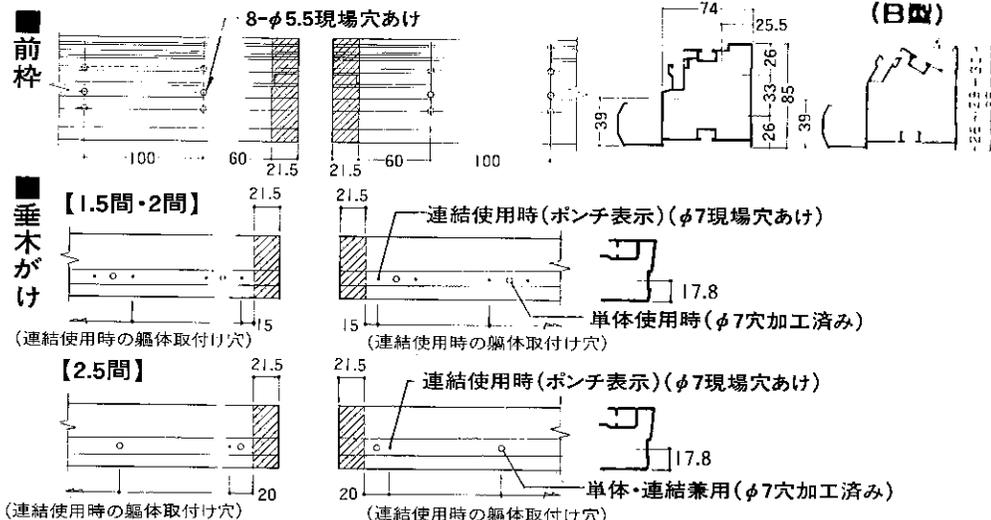
(お願い)

■連結タイプの雨どいの取付け

- バルコニーへの取付け、及び絞り柱を使用の場合連結3.5間4間タイプは、雨どいと柱取付け金具が接触します。図の位置に加工を行い、雨どい位置をずらしてください。

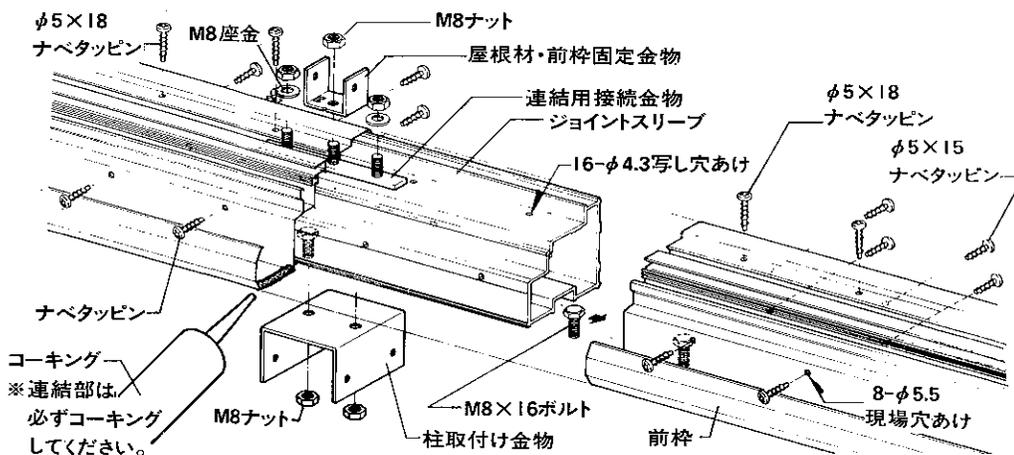


■前枠・垂木がけの切詰め加工

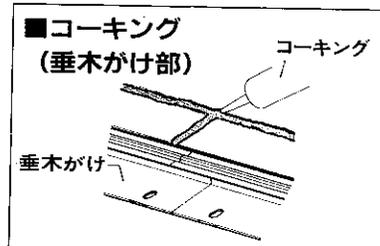
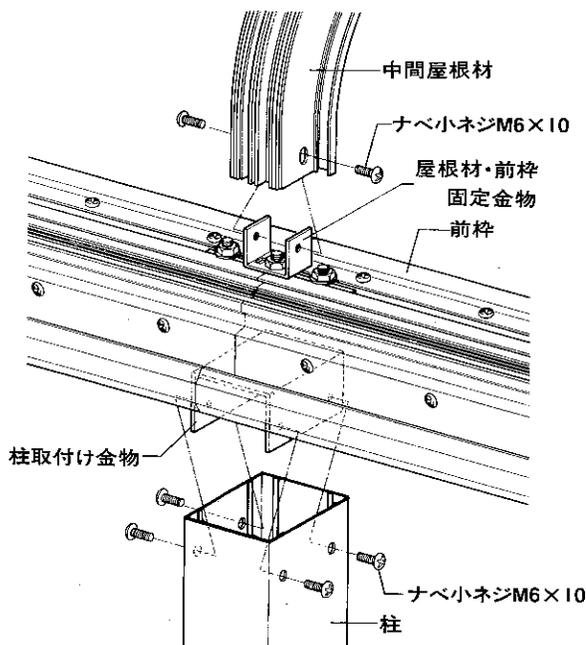


■連結部の取付け

注) スリーブはφ4.3で写し穴をあけてください。



■連結部への屋根材及び柱の取付け



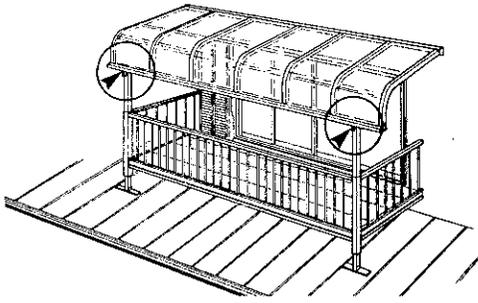
※連結の際、基本的には、柱は連結部へ取り付けるものとなりますが、現場状況等により止むを得ない場合は移動してもかまいません。

バルコニーへの取付け

カーブテラス部の組立てについては標準タイプと同じです。

バルコニーへの取付け

※取付けにあたっては、専用の部材、部品をご使用ください。



■柱の切詰め加工

- 現場実測をして寸法を出し、柱の切詰めを行ってください。

■バルコニーへの取付け

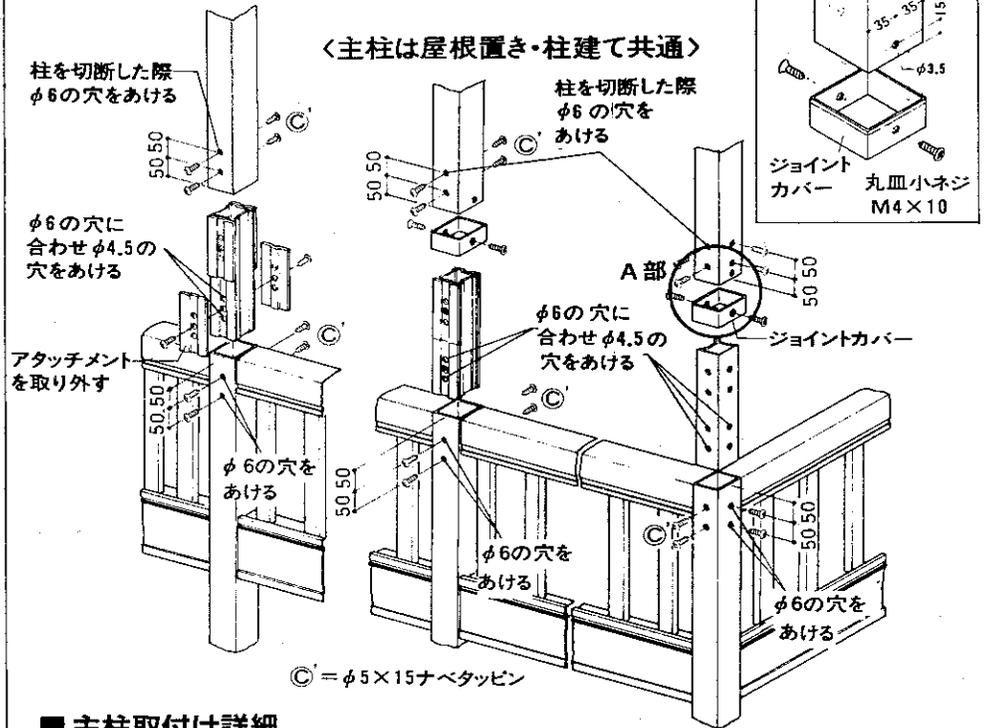
- 連結柱、ジョイント材など専用部材を使用し、右図要領で取り付けてください。

■必ず守っていただきたいこと

- 屋根置き式バルコニーに屋根を取り付ける場合、風による吹き上げが心配される現場では、補強プレスを両端に取り付けてください。

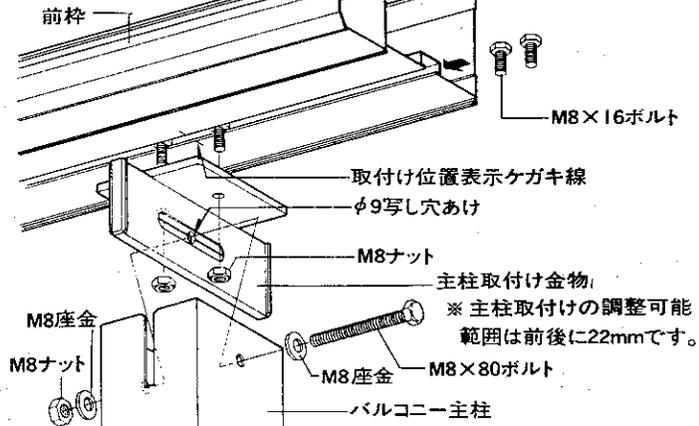
■バルコニーへの取付け

〈柱建て中間柱の場合〉

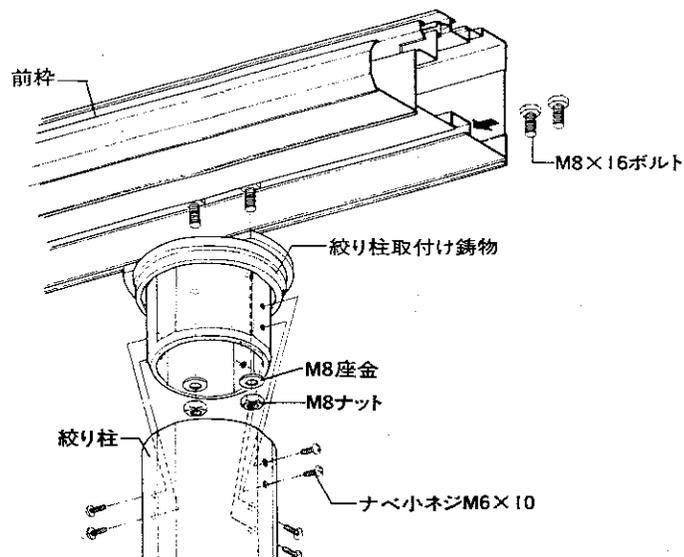


■主柱取付け詳細

(▶矢視部)



■絞り柱の取付け

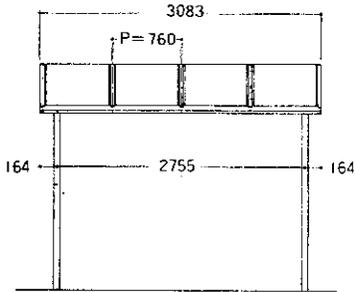


絞り柱を使用する場合

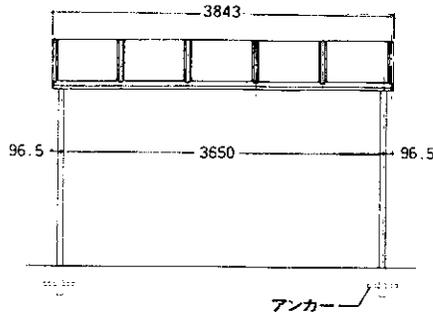
- 前枠に絞り柱取付け金物を取り付けます。次に、絞り柱を差し込み、ネジで固定してください。
- その他の取付けについては標準タイプと同じです。
- ※連結タイプの場合は絞り柱取付け金物をさらにφ5×18ナベタッピンネジで固定してください。

姿図

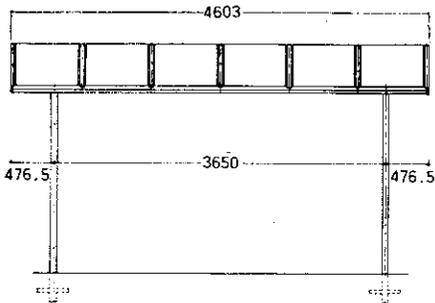
● 1.5間



● 2.0間

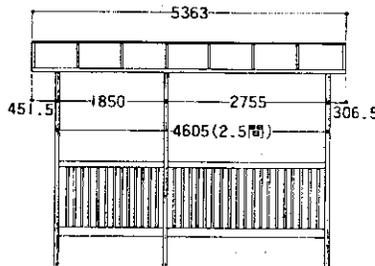


● 2.5間

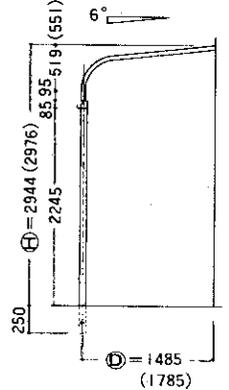


● 屋根用2.5間

1.5間用の長さ(間口)部材を2連結し、かつ781.5mm(1スパン)現場切り詰めしてください。



● A型5尺(6尺)

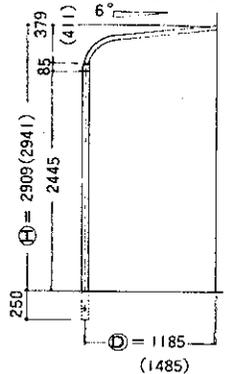


■ 屋根用2.5間の部材ひろい出し方法

(例)カーブテラスB型、2.5間×4尺(ブロンズ色)の場合

梱包種類	商品コード	数量
(屋根用)主柱セット	WAHB 121	1
(屋根用)中間柱セット	WAHB 122	1
長さ(間口)部材セット 1.5間用	WAHB 224	2
屋根材セット (端部) 4尺用	WAHB 404	1
屋根材セット (中間部) 4尺×3本入	WAHB 534	2
屋根パネルセット (4尺×2枚入)	WAHZ 024	2
屋根パネルセット (4尺×3枚入)	WAHZ 034	1

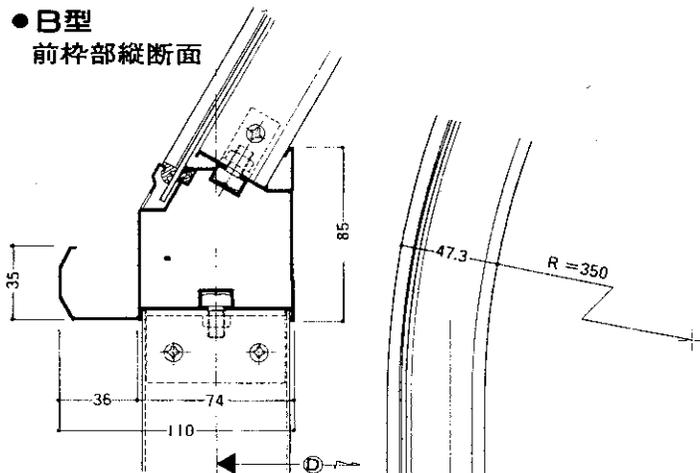
● B型4尺(5尺)



基本図

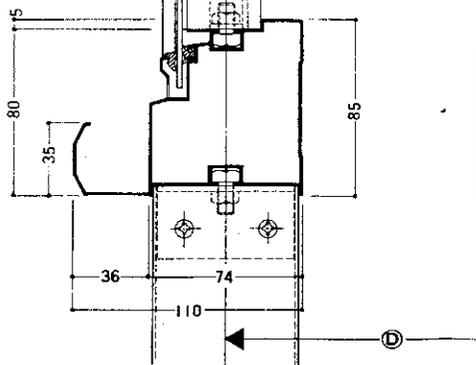
● B型

前枠部縦断面

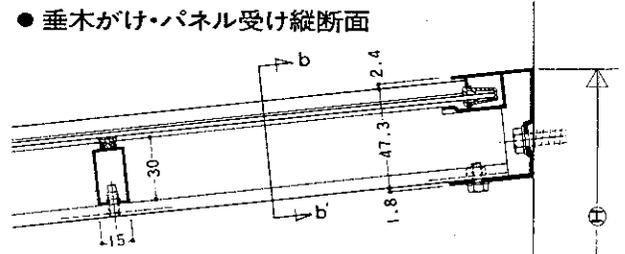


● A型

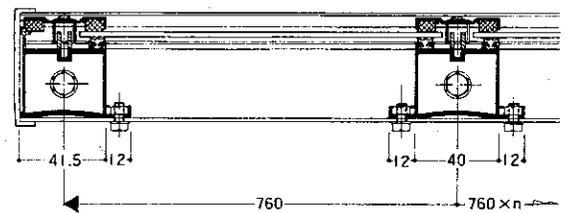
前枠部縦断面



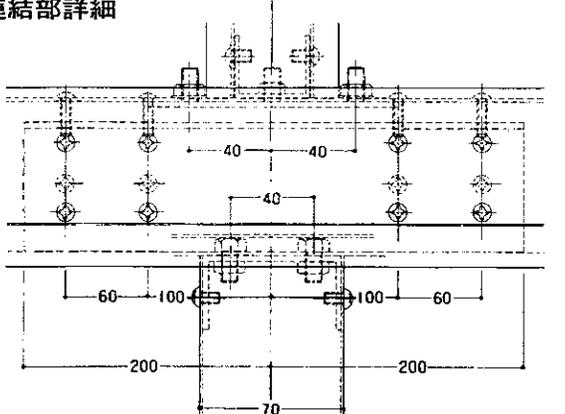
● 垂木がけ・パネル受け縦断面



● b-b' 断面図



● 連結部詳細



【工務店さまへのお願い】

通常の取扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分ご注意ください。

- 当社が表示した取扱い上の注意事項及び、維持管理の注意事項を守っていない場合。
- 当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所(地域)に製品を設置した場合。
- 工事上の欠陥があった場合。
- 製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合。
- 風・雪による落下や飛来による損傷。
- 製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着しておこる腐食。
- 不可抗力(天災、地震、異常気象(風、雪、水害など)地盤沈下、火災、騒乱など)による場合。
- 製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲外のもの(アクリルパネルなど)
- 当社以外のバルコニーと組み合わせた場合。

※本製品はテラスの JIS A 6602の規格に合わせて設計してありますが、JIS規格外となります。ただし、強度・耐久性などの品質については JIS製品と変わりありません。

■タイプの選び方

■カーブテラスA・B型は一般地域用600形仕様です。

一般地域用600形……………積雪 30cm以下の地域

■JIS規格外となる機種

- カーブテラスA型、B型はJIS認定品ですが、下記の機種はJISA 6602の規格と、寸法が異なるため、JIS規格外となります。
- 3連結の機種(4.5間用・5.0間用)
- バルコニーの屋根として使用する場合。

■上記のJIS規格外に該当する場合は、組立て前に前枠に張ってある(♯)マークを切り取り線から、はがしてください。

ただし、強度・耐久性など品質については、JIS製品と変わりありません。

【施主さまへのお願い】

■ネジ・ボルト類の増締め

■雪おろしについて

■清掃について

■建物の立地条件と清掃のひん度例

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	6～12回/年
海岸・工業地帯	4回/年
商業地帯	3～4回/年
田園地帯	3回/年

■部品の交換について

トステム製品をご採用いただき誠にありがとうございます。

製品をいつまでも美しく、そして快適にご使用いただくために、ぜひお読みください。そして日々のお手入れにお役立てくださるようお願い致します。

- 6ヵ月程度のご使用后、ネジ・ボルト類は増し締めをしてください。

- 積雪時には、危険ですので早めに雪をおろしてください。

雪おろしの目安……一般地域用600形(積雪20～30cm)

- 雪おろしなどで屋根に上がる場合、屋根材とパネル受け以外には乗らないでください。

- 腐食の防止には、定期清掃が一番です。

簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1～2回程度水洗い、空ぶきをするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい、工業地帯や海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増してください。

- アルミニウム表面の保護膜に傷をつけますと、腐食を早めます。清掃には布やスポンジなどの柔らかいものを使用し、やむを得ない場合のみスコッチブライトをご使用ください。金属性ブラシや金ペラは絶対に使用しないでください。

- 小石・砂などがアルミの表面についたまま布でこすると、表面を傷つけます。あらかじめ取り除いてください。

- 洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性やアルカリ性のものはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。

■汚れの程度と清掃方法

軽い場合……水でぬらしたぞうきんでふきます。

ひどい場合……中性洗剤をうすめた液で汚れを落した後、洗剤が残らぬよう水洗いし、空ぶきをします。

著しく腐食しサビが出た場合……中性洗剤をつけた、スコッチブライトまたは目の細かい紙ヤスリで、部分的に軽くこすり、汚れやサビを除いた後水洗いし、表面に適した塗料(家具用ワックス等)で補修してください。

注1)スコッチブライト(住友スリーエム)の粒度はウルトラファイン。

注2)こする際は一定方向(アルミ押出しの筋目方向)にこります。

注3)洗剤(薬品類)は、説明書をよく読んでから使用してください。

- 部品が必要な場合、または製品についてのお問い合わせは、最寄りのトステム取扱い店、またはトステム営業店にお問い合わせください。